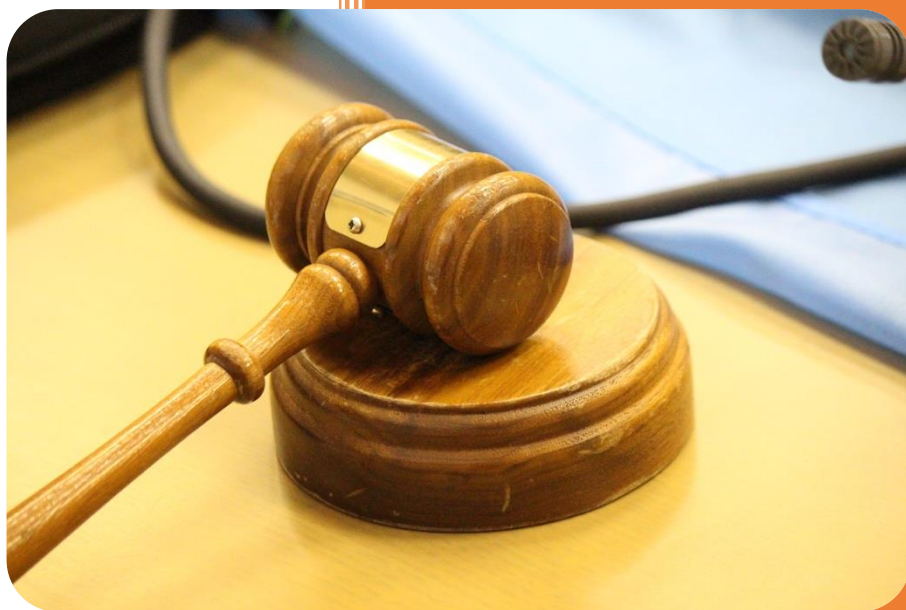


Conference Guide *for Global Classrooms in Japan 2020*



Japan Committee for Global Classrooms
Asia-Pacific Cultural Centre for UNESCO
第 14 回全日本高校模擬国連大会

参加者/見学者の皆様へ

Special Thanks

協賛

アンリツ株式会社
株式会社内田洋行
株式会社エヌエフ回路設計ブロック
学校法人河合塾海外大進学プログラム AGOS×K
キッコーマン株式会社
株式会社公文教育研究会
GC&T（株式会社公文教育研究会）
株式会社講談社
ゴールドマン・サックス
株式会社 JTB
学校法人駿河台学園
学校法人高宮学園代々木ゼミナール
一般財団法人凸版印刷三幸会
トヨタ自動車株式会社

株式会社ナガセ
株式会社日能研
株式会社ニチレイ
ブリタニカ・ジャパン株式会社
株式会社ベネッセコーポレーション Global learning Center
株式会社ベネッセコーポレーション海外トップ進学塾 RouteH
株式会社ベネッセコーポレーションお茶の水ゼミナール
三菱商事株式会社

協力

日本航空株式会社
理想科学工業株式会社
河合塾みらいぶ

助成

公益財団法人公文国際奨学財団

目次

Section I 大会概要

1. 今大会の開催にあたり	4
2. 大会当日の動き	5
2-1 タイムスケジュール	
2-2 開会式・閉会式について	
3. 大会までの準備および諸注意.....	7
3-1 会議中に使用可能なもの	
3-2 会議中の注意	
3-3 服装	
3-4 大会までに準備するもの	
4. 大会参加にあたり	8
4-1 責任	
4-2 提出書類	
4-3 各種費用	
4-4 今後のご連絡	

Section II 会議概要

1. 会議への参加にあたり	10
2. 選考および運営スタッフについて	11

Section I

大会概要

1. 今大会の開催にあたり

模擬国連は、参加者一人一人が国連加盟国の大使として国際会議をシミュレーションすることを通し、世界が抱える幅広い課題について考える活動です。この先進的な教育プログラムは 1923 年にアメリカのハーバード大学を発祥とし、2007 年には日本における高校模擬国連活動を担う団体としてグローバル・クラスルーム日本委員会が設立されました。関係各所の皆様の協力の下、この全日本高校模擬国連大会は、本年で 14 回目を迎えることができました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

今年度の全日本高校模擬国連大会は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、初の「オンライン開催」となります。対面での大会を心待ちにしていた参加者の皆様には、このような形態での開催となりましたこと、改めてお詫び申し上げます。

グローバル・クラスルーム日本委員会では、今年度の会議形態を巡り、最後まで対面での開催を模索してきました。しかし、感染症対策に万全を期した場合でも、各高校の判断によっては多くの生徒が参加できない恐れがあると判断しました。このような理由から書類審査を通過したすべての生徒が参加可能なオンラインでの開催となりました。ご理解の程、お願い申し上げます。

さて、今年 9 月に開催された第 75 回国連総会では、この全日本高校模擬国連大会と同様、初の「オンライン開催」となりました。各国首脳はビデオ演説を行うなど、例年とは大きく異なる会議形態の中、新型コロナウイルスへの対応策、経済協力の模索、地球温暖化など幅広い国際課題について話し合われました。このように会議の形態に関わらず、現実では取り組むべき課題が山積しています。今年度の議題である「宇宙利用」も国際協力が必要とされる重要な課題です。「オンライン」という特別な環境下ではありますが、ぜひ担当する国益や国際益の視点を忘れずに会議に臨んでください。検討を祈っております。

グローバル・クラスルーム日本委員会
理事長 小寺圭吾

2. 大会当日の動き

2-1 タイムスケジュール

《会議参加者用スケジュール》

11 月 14 日(土)		11 月 15 日(日)	
9:45	集合	9:45	集合
10:00	開会式	10:00	3rd Session
10:45	会議細則の説明		
11:00	1st Session		
12:00	昼食	12:00	昼食
13:00	2nd Session	13:00	4th Session
		16:30	Review
		17:15	閉会式
18:00	解散	18:00	解散

(備考)

1. 昼食は各自用意しておいてください。
2. 昼食時に会議とは関係なく交流の機会を設ける予定です。

2-2 開会式・閉会式について

《開会式》

日時：2020 年 11 月 14 日（土）10:00～10:45

1. 理事長挨拶

小寺 圭吾 （グローバル・クラスルーム日本委員会 理事長）

2. ACCU 挨拶

進藤 由美 （公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター
国際教育交流部長）

3. 開会宣言

小寺 圭吾 （グローバル・クラスルーム日本委員会 理事長）

4. 写真撮影

《閉会式》

日時：2020 年 11 月 15 日（日）17:15～18:00

1. 理事長挨拶

小寺 圭吾 （グローバル・クラスルーム日本委員会 理事長）

2. 会議報告

井原 渉 （第 14 回全日本高校模擬国連大会 会議総監督）

3. 受賞校発表

4. 閉会宣言

小寺 圭吾 （グローバル・クラスルーム日本委員会 理事長）

3. 大会までの準備および諸注意

3-1 会議中に使用可能なもの

- ・ 電子機器類 (ノートパソコン、タブレット、電子辞書、USB メモリのみ)
- ・ リサーチ資料
- ・ メモ帳
- ・ 筆記用具

3-2 会議中の注意

【禁止事項】

- ・ SNS の使用(ペア間での連絡を除く)
- ・ インターネットを使用した検索
- ・ 学校や自宅以外 (カフェなど) からの参加
- ・ ペアで同じ部屋からの参加(ハウリング防止、参加条件の統一のため)
- ・ 会議の録画またはスクリーンショット

* 詳細については、後日配布するオンラインマニュアルを参照

【注意事項】

- ・ 疲れを感じた時は各自休憩をとってください。

3-3 服装

会議中は大使としてふさわしい服装(制服等)にてご参加ください。

3-4 大会までに準備するもの

- ・ パソコン(タブレット端末での参加も可能だが、パソコンを推奨)
カメラ及びマイクが正常に動作することを確認してください。デスクトップなどパソコン本体にカメラが搭載されていない場合は、別途カメラを設置してください。
- ・ Wi-Fi 環境の整備(通信速度 15Mbps 以上を推奨)
wifi 測定 (<https://fast.com/ja/>) で計測して頂き、数値が 15Mbps 以上あるかをご確認下さい。快適に利用できる数値目安は 30Mbps 以上です。スマートフォンによるテザリングもご利用頂いて構いませんが、容量制限を超えないよう十分注意してください。

4. 大会参加にあたり

4-1 責任

グローバル・クラスルーム日本委員会は、関係団体とともに、今大会の円滑な実施に向け、体制準備及び安全管理につき、万全を期する所存です。しかしながら、その業務はあくまで大会主催のみであり、万が一の不測の事態(通信環境によるものなど)が生じた場合の責任は、参加者各位に帰することとなりますので、予めご理解をお願いします。

4-2 提出書類

メールにてお送りしました下記の資料について、ご確認の上、プリントアウトしていただき、ご記入ご捺印の上、スキャンしていただき **PDF 形式で、10月23日（金）17時までに**グローバル・クラスルーム日本委員会（contact@jcgc-mun.org）までお送りください。

ご提出は、引率教員がまとめてご提出くださいますよう、お願いいたします。

《提出書類》

1. 個人情報及び肖像権についての取扱同意書
2. 学校長推薦書

グローバル・クラスルーム日本委員会では、本大会にご参加いただくにあたり、学校長推薦書をもちまして、学校側のご協力をお願いしております。1チームにつき1部をご提出ください。

4-3 各種費用

2017年度大会より、**1チームにつき10,000円**の参加費をいただくこととなりました。振込方法等の詳細につきましては、メールをご確認ください。

4-4 今後のご連絡

大会に関するご連絡につきましては、大会メーリングリストを通じて行います。ご質問等がございましたら、グローバル・クラスルーム日本委員会（contact@jcgc-mun.org）までお気軽にご連絡ください。また電話での受付はしておりませんのでご注意ください。

Section II

会議概要

1. 会議への参加にあたり

学校の授業などで学問の対象としての宇宙について学ぶことはあっても、それが普段の生活に関わっていることを意識する機会は少ないかもしれません。しかしBS放送、スマートフォンの地図アプリ、天気予報など私たちは人工衛星を利用したサービスを日常的に利用しています。このように探査や研究だけではなく「利用」の場としての宇宙を今回の会議では扱います。

宇宙はどこの国の領域にも属さない空間です。そのため国際社会で宇宙を開発・利用する際のルールを決め、各国の宇宙政策を調整する必要があります。宇宙利用についての各国の立場は多様であり、意見の対立も見られます。大使の皆さんには宇宙利用が抱える課題を理解したうえで、対話による協調を目指してほしいと思います。今回の会議で政策を立案し議論する際、留意してほしいことは次の2点です。

1. 現代の情勢を踏まえて既存の枠組みを見直す

宇宙利用に関する代表的な国際規範のほとんどは40年以上前に作成されたものです。しかしその時代から宇宙利用を取り巻く状況は大きく変わり、これらの規範では対応できない問題も出現しています。大使の皆さんにはそのような既存の枠組みが抱える課題を踏まえて、現代の宇宙利用の実態に即した新たな国際制度の可能性を探ってほしいと思います。

2. 担当国の立場を離れない

今回の会議では柔軟な発想によって問題を解決しようとする姿勢を歓迎します。しかし、いくら問題解決につながるアイデアであっても、担当国の国益を損なうようなものであれば実際の会議で提案することは望ましくありません。政策を立案する際には自国が国際会議の場で提案するにふさわしいものかどうかを常に吟味するようにしましょう。

宇宙利用という新時代の開発を扱う議題に、皆さんが存分に力を発揮して取り組むことを期待します。

第14回全日本高校模擬国連大会 会議監督
井原 渉 荒井 ひかり

2. 選考および運営スタッフについて

◆ 選考員

2010 年度より、優秀大使の選考を専任で行う選考員を設置しております。
各議場につき 5 名の選考員が公平に選考を行います。

◆ 選考対象

【最優秀大使賞・優秀大使賞】

選考対象は会議時間内の大使の行動のみとし、最優秀大使賞は各会議 1 チーム、優秀大使賞は各会議 2 チームに授与いたします。

【地域特別賞】

過去に弊団体を通して国際大会に派遣されたことのない都道府県に所在を置く高校を対象として、「地域特別賞」を各会議最大 1 チーム（計最大 2 チーム）に授与いたします。

第 14 回大会における「地域特別賞」選考対象都道府県

青森 岩手 宮城 秋田 山形 福島 茨城 栃木 新潟 富山 石川 福井 山梨
長野 静岡 三重 滋賀 和歌山 島根 岡山 広島 山口 徳島 高知 福岡 佐賀
長崎 熊本 大分 宮崎 鹿児島

【Position and Policy Paper 賞】

事前に提出していただく Position and Policy Paper の一部項目（別途連絡いたします）を選考対象とします。各会議 1 チームに授与いたします。

※ご承知の通り現在新型コロナウイルスの流行によって各国で渡航制限がかけられております。従いまして、第 14 回全日本高校模擬国連大会の募集要項では「最優秀賞・優秀賞・地域特別賞を受賞したチームは、高校模擬国連国際大会への参加資格を得ます」との記載を致しましたが、現状では派遣事業そのものを保留といたします。2020 年 12 月末までに外務省からの渡航中止勧告がすべて解除され、かつ国際機関（WHO）を含む関連機関による「安全である」との宣言がなされた場合には、事態が好転したとみなし NY 派遣の実施を検討いたします。

◆ **学校関係者の評議員の位置づけ**

2009 年度より教育現場の視点から助言いただくことを目的に、グローバル・クラスルーム日本委員会の評議員として、模擬国連に取り組まれている公立・私立高校の先生方をお迎えいたしました。尚、大会の選考にしまして評議員の学校関係者は一切関与しておりません。

◆ **ボランティア・スタッフ**

グローバル・クラスルーム日本委員会が実施するプログラムの下、高校模擬国連国際大会へ参加した OBOG 及び模擬国連活動に従事する大学生らが当日ボランティア・スタッフとして参加し、大会全体の円滑な運営をサポートいたします。尚、ボランティアを含めスタッフによる会議への助言等は一切行いません。



主催：グローバル・クラスルーム日本委員会（JCGC）
公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター（ACCU）

お問い合わせ先：contact@jcg-mun.org

発行年月日：2020年10月17日